

東日本大震災から 8 年「災害に備える」

(FM まいづる防災サポーター講座)

◆日時 2019 年 2 月 23 日 (土)

第 1 部 防災座談会 9 時 30 分～11 時 00 分

第 2 部 FM まいづる防災サポーター講座 11 時～12 時 00 分

◆場所 西市民プラザ 2F スタジオ前 「市民活動室」

◆主催 FM まいづる／一般財団法人有本積善社 (協力：日星高校)

◆趣旨

日本全土で頻発する地震や水害で日本全国が被災地になりつつあります。東日本大震災から 8 年目。被災地の教訓から学び、被災者の想い聴き、今、私たちにできることは何かを考えます。

宮城県立石巻西高校は、教室が避難所となり体育館が遺体安置所 となりました。当時教頭だった齋藤先生はその運営の最先頭に立ちその教訓を生かし、退職後も防災教育を「命 の教育」として広めるために全国を歩いておられます。大曲小学校にも津波がきました。当時 4 年生だった武山さん震災で親戚や友達を亡くし、もっとできることがあったのではないかと悔やみました。「伝えることで助かる命がある」と TTT (Tunami Teenager Tourguide) の仲間と語り部活動を始めました。

◆テーマ 東日本大震災から 8 年「災害に備える」

◆講演／講師 元石巻西高校校長・現東北大特任教授 齋藤幸男さん

(「生かされて生きる」著者)

◆座談会 ファシリテーター 齋藤幸男さん

お話 武山ひかるさん (石巻市立桜坂高校 3 年生)

内容：今、被災地の高校生から伝えたい事

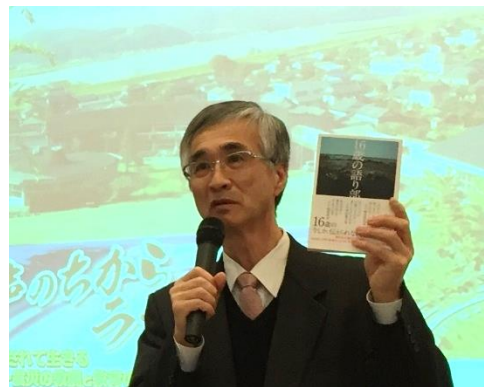
災害に備える・避難所運営・ラジオの力 など

◆参加費 無料

◆お申込み (※当日参加も歓迎です。)

電話もしくは E-mail、FAX にて「FM まいづる」迄お申込みください。

TEL 0773-77-0120 / FAX 0773-77-0124 E-MAIL : info@775maizuru.jp



記憶を風化させない

この活動で、武山ひかるさんは「家族や友達がいる、普通の日常があるということ大切にしたい」という思いを込めて話しています。

武山さん自身、震災で親戚や学校の友達を亡くし、もっとできることがあったのではないかと悔やみました。

ありがとうの気持ちを伝えること、ケンカをしたら「ごめんね」を言うこと、あいさつをすること。

話を聞いた人には、「こうしておけばよかった」と後悔をしてほしくないから、武山さんは「一日一日を大切に生きて」と伝えていきます。

震災からもうすぐ 7 年。時間とともに震災が忘れられていくのではないかと心配しています。

震災を知らない子どもたちや被災地以外の人たちに、当時のことを言葉だけで伝えるのはとても難しいと感じています。それでも武山さんはあきらめません。

「自分たちの言葉が聞いてくれる人に伝わって、何かあったときに『そういえばあのとき、あの子がこんなことを言っていたな』と思いついて役立ててくれたらうれしい」と

(毎日小学生新聞 2018 年 3 月 8 日号)

防災座談会 参加申込書 (FAX0773-77-0124 E-MAIL:info@775maizuru.jp)

お名前 (連絡先)	参加人数	参加を希望される講座に☑を入れてください。
		<input type="checkbox"/> 第 1 部 防災座談会 <input type="checkbox"/> 第 2 部 FM まいづる防災サポーター講座